

毛里田の風

3月号



法人理念：多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊重を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

法人使命：「志と誇りを高く！自分も周りもしあわせに！そして、円満へ。」

* 仏教の『自利利他円満』の教えより。

社会福祉法人毛里田睦会 理事長 長谷川俊道

施設運営の方針

「安心してやすらぎのある生活」を送っていただけるよう施設サービスの充実に努めます。

3月の行事予定



ひな祭り

手作りおやつ

(どら焼きを予定)



《令和3年度介護報酬改定の概要》

新型コロナウイルス感染症や

大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取り組み者推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を図る。

『2025年問題の対策』

2025年問題を解決するために、政府が取り組んでいる対策についてご紹介します。政府は、2025年に向けて「地域包括ケアシステムの導入」を目指しています。

地域包括ケアシステムとは、高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、「住まい」「医療」「介護」「生活支援・予防」をトータルにサポートする仕組みのことです。

地域包括ケアシステムには、保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーが配置され、地域に暮らす高齢者をサポートします。2025年に向けては「地域包括ケアの実現」と「在宅医療」を推進しています。

看護の機能強化としては、「昨日強化型訪問看護ステーション」の設置や「看護 小規模多機能型 居宅介護施設（かんだき）」の増設を検討しており、地域包括ケアの中核になると期待されています。

人手不足の解消では、政府は、再就職の支援を強化するとともに、「介護ロボットやAIの開発などを推進」しています。これが実現されれば、医師や看護師の人手不足を解消できると期待されています。

病院から在宅へ：来たる2025年に備えて、保険・医療・福祉制度の中心を「医療」から「生活」を支援するケアを重視する方向へとシフトしました。病棟の削減もはじまり、在宅医療に高い診療報酬を設定しています

2025年問題のまとめ

日本は、世界に類をみないスピードで高齢化が進んでおり、超高齢化社会の到来で起こる「2025年問題」は非常に深刻です。2025年問題の対策として国は、「自助努力」と「民間による地域支援」にシフトしているため、自分で対策をしておくことが必要になります。

ご家族様へ

『高齢者施設における新型コロナウイルスワクチン接種について』3月より、順次ご家族様へ確認のための連絡をいたします。接種が始まる前に、入所者ワクチン接種の希望の有無を確認します。65歳以上の施設入所者が対象となります。

『令和3年度介護報酬改定について』4月1日より介護保険の改定があります。これにより介護保険料基本報酬が変更となります。介護職員の人材確保・処遇改善にも配慮しつつ、物価動向による物件費への影響など介護事業者の経営を巡る状況等を踏まえ、0.7%増額。*うち、新型コロナウイルス感染症に対するための特例的な評価0.05%（令和3年9月末まで）

基本報酬改定については別紙にてお知らせいたします。質問等ございましたら事務所までご連絡ください。

介護でお困りのことがございましたら、どんなことでもお気軽にご相談ください。

〈ご案内〉月曜日から金曜日の平日9時～17時の間に事務所窓口へお声掛けください。お待ちしております。

連絡先：0276-56-9357

介護支援専門員：石原ひろみ

ダイヤより



ボールを使ったレクリエーションと節分行事

🎂お誕生日おめでとうございます🎂



笑顔あふれる毎日です。
庭の桜が咲き始めました！

スペードより



普段の食事時の様子♪

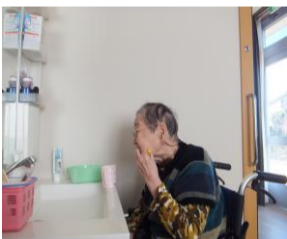


日中の活動量を増やすことで夜間の良眠を促しています。



クローバーより

口腔ケアへの取り組み
口内を清潔に保つことは感染予防の効果のみならず、唾液の分泌や話す・食べる・飲み込むといった口腔機能の維持・向上効果が見込め、美味しく楽しい食事を通して身体全体の健康促進をもたらします。



居室にて入念な口腔ケア

大きく口を開いて口腔体操、
...そして美味しい食事



歯科医による訪問診療（毎週水曜日）

懐かしの写真を見て談笑☺

2月に誕生日を迎えられた入居者様



大好きな甘いデザートの前に笑顔でポーズ

看護より

担当：小林志奈子

今年も花粉の季節がやってきましたね。花粉症とは、体内に侵入した異物（＝花粉）を撃退しようと免疫機能が過剰に働くことで起きる症状です。その対策として、できるだけ花粉を体内に入れないようにすること、免疫力を高めることが大切です。花粉症対策としてマスクやメガネなどが有効ですが、同時に注意したいのが「口呼吸」「ヨゴレ腸」「睡眠不足」。何れも免疫力を低下させる要素で、花粉症悪化の原因になります。

下記のチェック項目を参考に、自身の生活を見直してみてもいいかなですか。

□朝起きると、口の中が乾いている□ふと気づくと口が開いていることがある⇒ガムが効果あり

□冷たい食べ物、飲み物をよく摂る□便秘がちで、おならが臭い⇒リンゴが効果あり□平均睡眠時間は16時間以下⇒

横になるだけでもOK!□夜中や早朝に目が覚めてしまう



調理より

担当：前原紀子



2月の行事食として、恵方巻とにぎりずしを提供させていただきました。生寿司はいつも人気で、今回のにぎりずしも皆さんお代わりをしてお寿司を楽しみ、お腹いっぱい召し上がっていました。今後も利用者の皆様の笑顔を食事を通じ少しでも引き出すことが出来たらいいなと思います。気温も少しずつ高くなってきますので、衛生管理には十分気を配り、春を感じられるメニューを提供してまいりますのでよろしくお願い致します。